

飯山市第6次総合計画前期基本計画 第4回飯山市基本構想審議会 会議概要

1	会議名	第4回飯山市基本構想審議会
2	日時	令和5年1月20日（金）15時～16時
3	会場	飯山市役所 4階 全員協議会室
4	委員出席者	松澤委員、村山委員、手塚委員、坪井委員、高澤委員、西川委員、坪根委員、松永委員、荻原委員、吉越委員、内山委員、今清水委員、岩澤委員、久保田委員、丸山委員、直江委員（代理・上島氏）、高野委員、滝澤委員、近藤委員、山崎委員、上村委員（順不同） ※欠席 小林委員、鷺森委員、大口委員、出澤委員、本間委員
5	事務局出席者	総務部長、事業戦略室長、事業戦略室事業戦略係長、 企画財政課企画調整係長
協 議 事 項 等		
1	開 会	（進行：総務部長） これより第4回飯山市基本構想審議会を開催する。委員の交代を連絡する。飯山市区長会協議会長の稲生孝氏の任期満了に伴い松澤孝氏が会長に選出され、委員に委嘱した。松澤委員から自己紹介を頂く。 （松澤委員） 出身は秋津の大久保区の区長である。1年になるがよろしくをお願いしたい。 （事務局） 本日、小林委員、鷺森委員、大口委員、出澤委員、本間委員は欠席である。また北辰地域振興局長の直江委員の代理として北信地域振興局 課長補佐 上島氏が代理出席である。 まず、坪根会長からごあいさつを頂く。
2	会長あいさつ	（進行：総務部長） （坪根会長） 本日、4回目の審議会となる。これまで基本構想について審議を頂き、昨年末、答申を行った。今回、この後市長から諮問を受け、前期基本計画の審議が始まる。幅広い行政分野の検討になるが、各専門分野から選出された委員には日ごろの活動を踏まえ、忌憚のない意見を願います。
3	市長あいさつ	（進行：総務部長） （市長） 昨年9月から3回にわたり総合計画の最上位に当たる基本構想素案について審議を頂いた。

委員の意見を反映した素案は令和4年12月、正副会長から答申を頂いた。今後、議会に諮る予定である。

本日から基本構想を実現するための5年間の施策をまとめた前期基本計画について審議をお願いする。この計画は行政分野のすべての施策を網羅している。これからの時代への対応や人口減少への対策など、それぞれの立場で審議をお願いしたい。

4 諮問

市長から坪根会長に諮問書を手交

(市長退席)

(事務局)

配布資料の確認

(事務局)

これより審議に移る。坪根会長の進行でお願いする。

5 審議

(進行：坪根会長、説明：事務局)

(1) 第6次総合計画 前期基本計画について <資料1、2>

※資料に基づき事務局説明

(坪根会長)

資料の事前送付が直前となったため、直ちに意見は難しく、後ほど意見を頂きたいとのことである。計画は施策を示すものであり、実施計画に具体的な事業や取り組みを盛り込む。幅広く必要なことが盛り込まれているかとの視点で意見を頂きたい。

(委員)

50ページにある国民スポーツ大会(2028年)について、取り組みの1つの柱に選手育成があるが、この中に「選手育成」という文言を入れてほしい。

(2)についても国民スポーツ大会関連だが、施設整備ではジャンプ台の改修など大きな案件になるため、「また、」の接続詞でつなぐのではなく、別項目で取り上げることがふさしいと思う。検討を願う。

(事務局)

意見を踏まえて検討する。

(委員)

3ページの人口推計で2045年までの数字が出ているが、計画期間内の目標は2027年(令和

9年)と比較した際に表が見づらくなっている。誤解のないような表現を願う。

基本目標1の2(10ページ)で「利雪・楽雪・土地利用」とあり、(7)では「市土利用」とあるが、土地利用のことか。4番目の住宅施策と土地利用は関連したものであり、切り離すと、土地利用計画や都市計画のマスタープランとの整合に不安があり、整理していただきたい。

76ページ、(2)冬の暮らしの安心安全確保で、共同住宅の実証実験が書いてあるが、雪の中で高齢者を集めると、住んでいた家は誰かが雪を掘らなければならなくなる。地域の特性を考えながら提案されたのか疑問である。

(事務局)

人口に関する表現は改善する。

土地利用と住宅と兼ね合いについては、別の部署で国土利用計画を策定中である。総合計画とも整合を取りながら作業が進んでおり、整合を図る。

共同住宅の実証実験については担当課と相談する。

(委員)

43ページの「1 市民協働・ダイバーシティ」について、審議会等の女性の参画率が、目標(令和9年度)が35%になっている。数字に根拠はないと思われ、市長の政治姿勢から50%に設定するほうがいいと思う。

人口減少対策を大きな政策に掲げている以上、合計特殊出生率も2.0%でなくてはならないと思うが、難しい気もしている。審議会等の女性参画率については行政の意思決定次第で可能とみられ、財源も特に必要とされないため50%がいいと思う。

(事務局)

審議会委員の女性参画率35%は、男女共同参画マスタープランの計画に掲げられた目標を、整合を図り記載している。委員の意見は持ち帰り検討したい。

(委員)

81ページの「飯山市総合戦略」に「デジタル技術を最大限活用しながら 行政分野横断的に」とあるが、今後、実施計画の策定協議・遂行に移る際、この記述が大事になる。また横断的に動かす組織づくりも一大施策に匹敵するほど大変なことと思う。この点にはぜひ力を入れてほしい。

(事務局)

「デジタル技術を最大限活用しながら」という部分は、昨年10月に策定したDX推進計画で、短期・中長期に取り組むものがあり、専門部署を設ける形にしたいと事務局レベルでは考えているが、今後の庁内協議の中で決定されると思う。少なくとも、DXについては専門部署等の中で推進していきたいと考えている。

(委員)

28 ページの施策(2) 子育て世代支援で最初にある「『ワンストップ相談窓口』あいえる」は、「あいえる」をかきかっこでくくったほうがいいと思う。

4 つめに記された子育て支援拠点施設の「きらら」は、限定的に記載されてもいいのか疑問に思う。

30 ページの施策(2) に掲げた「質の高い学力の保障」を考えると、1 番と 2 番の「●」を入れ替えたほうがいいと思う。給食費の完全無償化を強力に推進するため、最初に記載しているのであればこの限りではない。

「(1) 生き抜く力を育むための教育」の 3 つ目の「●」にある「課題を探し自己で探求」とあるのは「探究」ではないか。

31 ページの(6) の最後の「●」に「ボランティア活動を通じて」とあるのは、ボランティアを柱にするのであればいいが、限定していいものなのか気になるところである。

(事務局)

表現については再度確認しながら、修正等したい。市子ども館「きらら」や、ボランティア活動の部分で限定的な表現に疑問を呈された点についても、担当部署と調整を図りながら修正等を行いたい。

(委員)

資料 1 にある男女共同参画推進委員会の組織を根本から見直してほしい。目標達成は難しく、委員会単独で開く講演会にしても人が集まらない。少ない人口の中で、男女共同参画事業と個別に限定せず、人権や民生児童委員などと横のつながりを持ちながら講演会を開いてはどうか。

「きらら」についても、吉越委員の指摘に同感である。「きらら」だけに限定せず、保健センターも多くの子育て支援を担っているため、文章を直してほしい。

(事務局)

男女共同参画推進委員会のあり方については、担当課に伝える。

「きらら」に限定しないよう修正する。

(2) 今後の予定について

(事務局)

※市民パブリックコメントの募集について説明

※次回審議会は 2 月上旬から 3 月上旬に開催予定

6 その他

(委員)

パブリックコメントはいつ出すのか。計画素案については、直せる箇所は直してパブリック

コメントは出すのか。

(事務局)

パブリックコメントは2月8、9日に実施を予定している関係上、今回の基本計画案に関する委員からの意見の締め切りを2月3日から1月27日(金)に変更させていただく。その結果を踏まえ、パブリックコメントを実施したい。

長時間にわたりご審議頂き、ありがとうございました。

本日の会議はこれで閉会とする。

7 閉 会